

検察、シン・ドンビン会長主導の M&A 全数調査...ロッテグループ再編オールストップ  
 記事入力 : 2016-07-29 10:43 1 修正 : 2016-07-29 10:44

【イートゥ데이 チェ・ジェヒョク記者】

会計法人・投資銀行業界関係者全方位の調査...新会長の疑い証明に焦点を当て



롯데그룹의  
 주요 M&A 단위: 억원

	인수주체 및 인수기업	인수금액
2004년	호남석유화학, KP케미칼	1785
2006년	롯데쇼핑, 우리홈쇼핑	4667
2007년	롯데쇼핑, 빅마트・나이스마트	1000
	롯데쇼핑, 중국 마크로 짐포	1615
2008년	호텔롯데・롯데역사, 대한화재	3526
	롯데제과, 길리안	1700
2009년	롯데쇼핑, 인도네시아 마크로	3900
	롯데칠성, 두산주류BG	5030
2010년	롯데면세점, AK면세점	2800
	코리아세븐, 바이더웨이	2740
	롯데쇼핑, GS리테일(백화점 마트)	13000
2012년	호남석유화학, 말레이시아 타이탄	15000
	롯데쇼핑, 하이마트	12480
2013년	호텔롯데, 베트남 레전드 호텔	715
	호텔롯데, 제주 부여리조트	424
2015년	호텔롯데, KT렌탈	10200
	호텔롯데, 더 뉴욕 팰리스 호텔	9000
	롯데케미칼, 삼성 화학 계열사	30000

検察がシン・ドンビンロッテグループ会長の横領と裏金造成疑惑を立証するために、彼は主導の買収合併 (M&A) をすべて捜査している。

29 日関連業界によると、ソウル中央地検特捜 4 部 (部長ジョジェビン)、先端犯罪捜査 1 部 (部長ソンヨウンベ) は、ロッテグループの M&A に関与した三日 PwC と投資銀行 (IB) 前・現職関係者を最近参考人身分で調査した。

検察は、これらに新会長が 2004 年ポリシー本部部長に上がった後に行われた M&A に違法性があったのかを計算して、水はことが分かった。検察の捜査方向が新会長の秘密資金造成に焦点を置いたものとみられる。

これにより横領、背任、裏金造成疑惑が適用されるロッテグループの M&A の件は増える見込みである。特に検察は、捜査の範囲を限定していないと伝えられた。

ロッテグループが 2000 年代初頭に行われた M&A だけでなく、李明博政権以降の企業結合の両方が捜査対象になることがあります。新会長は、李明博政権時代の 2008~2012 年斗山酒類 BG、AK 免税店、プロバイダウェイ、CS 流通、ハイマートなどを買収した。

検察のロッテグループの M&A の捜査が長期化するとの見通しも出ている。新会長の横領背任は国内企業ではなく、海外企業の買収で、より大規模に発生したものと検察は見ている。海外企業の買収はデータがうるさい膨大なほど長い捜査の時間を投入しなければなら

ない。現在、2010年、ロッテショッピングの中国ラッキーパイ引数、ロッテ七星飲料のフィリピンペプシ引数などが検察の捜査線上に上がったと伝えられた。

これにより、ロッテグループ内の時間も長期間立ち止まりようになった。検察の捜査で、ロッテグループは、新しい企業を買収することも、事業を再編することもできないジレンマに陥ったからである。ロッテグループは、検察の捜査が開始される前に、いくつかの事業部門を売却しようとした。しかし、6月、検察の捜査が本格化し、その計画は失敗に終わった。検察の捜査の後、ロッテグループは、ホテルロッテ賞状とロッテケミカルの米国の化学会社の買収計画も撤回した。

IB業界関係者は、「ロッテグループが今、いくつかの事業の売却を推進する渡り鳥論議に包まれるだろう」とし「新会長を究明することができるほどの投資がない場合は、新規事業を進めたりしない」と診断した。

一方、検察起訴が新会長とまではいかないだろうという観測も提起されている。新会長が有罪を受信すると、佃隆行（佃孝之）日本ロッテホールディングス社長など日本側の関係者が、それに対する支持を回収するながらロッテグループが瓦解することができるからである。

チェ・ジェヒョク記者 [freshphase@etoday.co.kr](mailto:freshphase@etoday.co.kr)

<著作権者©イートゥデイ無断転載/再配布禁止>